

現酒田市総合計画スタート以降の社会情勢と本市のあゆみ

年	本市のあゆみ	社会情勢
2018 年 (H30)	◆ 4 月 八幡病院、松山、飛鳥、升田、青沢、地見興屋診療所が地方独立行政法人山形県・酒田市病院機構へ移管統合 ◆ 4 月 酒田南高等学校開校（酒田南高等学校と天真学園高等学校が統合） ◆ 4 月 八幡保育園開園（八幡保育園に市条保育園が統合） ◆ 4 月 酒田市産業振興まちづくりセンター「サンロク」創設 ◆ 4 月 酒田市斎場の供用開始	◆ 国が「キャッシュレス・ビジョン」を発表、キャッシュレス決済の急普及 ◆ 国が「SDGs 未来都市」の選定を開始、SDGs（持続可能な開発目標）の主流化 ◆ 「平成 30 年 7 月豪雨（西日本豪雨）」が発生、「警戒レベル 1～5」の導入検討 ◆ 「成人年齢を 18 歳に引き下げる」改正民法の成立 ◆ 平昌冬季オリンピックでのメダルラッシュ
2019 年 (R 元)	◆ 6 月 酒田市国際交流協会が設立 ◆ 7 月 日向里かふえが日向コミュニティセンター内にオープン ◆ 7 月 酒田市と株式会社良品計画が「地域発展を目指すパートナーシップ協定」を締結 ◆ 8 月 庄内ー成田線の LCC 運航開始 ◆ 9 月 酒田市長に丸山至氏が就任 ◆ 11 月 黒森歌舞伎がポーランドで公演	◆ 消費税率を 8%から 10%へ引き上げ ◆ 「令和」への改元 ◆ 「軽減税率制度」の導入開始 ◆ 行政手続きのオンライン化を原則とする「デジタル手続法」が成立 ◆ 「タピオカブーム」に代表される SNS 発のトレンド
2020 年 (R 2)	◆ 1 月 日向コミュニティ振興会が、総務省の「令和元年度ふるさとづくり大賞」を受賞 ◆ 3 月 かんぽの宿酒田の閉館 ◆ 3 月～5 月 新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、市内全小中学校の臨時休校、および公共施設 163 か所を臨時閉館。飲食店にも営業自粛を要請 ◆ 6 月 良品計画が日向・大沢・観音寺・一條の 4 地区で移動販売を開始 ◆ 12 月 日本海沿岸東北自動車道開通（酒田みなと IC～遊佐比子 IC）	◆ 新型コロナウイルスの感染拡大による第 1 回「緊急事態宣言」の発出（4 月） ◆ 「新しい生活様式」とテレワークの普及 ◆ 特別定額給付金（10 万円）の支給 ◆ マイナンバーカードの普及と消費の活性化を目的とした、マイナポイント第 1 弾（最大 5 千円分のポイント付与）を実施

年	本市のあゆみ	社会情勢
2021 年 (R 3)	◆ 2月 住民基本台帳人口が10万人を下回り99,935人になる ◆ 3月 山居倉庫が国指定史跡に指定 ◆ 4月 みなと保育園開園（浜田保育園と若竹保育園が統合） ◆ 4月 十里塚風力発電所が運転開始 ◆ 6月 東京五輪聖火リレー（日和山公園～飯森山公園） ◆ 7月 マリーン5清水屋が閉店 ◆ 10月 旧割烹小幡を改修した交流観光拠点施設「小幡楼」オープン ◆ 11月 酒田地区広域行政組合の消防本部・消防署本署が大町に移転	◆ デジタル庁の設置 ◆ 総務省が「自治体DX推進計画」を策定、マイナンバーカードの普及・活用の推進 ◆ 新型コロナワクチンの接種開始 ◆ 東京2020オリンピック・パラリンピックの開催 ◆ GIGAスクール構想で児童生徒「1人1台端末」環境の活用が開始
2022 年 (R 4)	◆ 2月 飛島に光ファイバーケーブル敷設 ◆ 4月 とびしまマリンプラザリニューアルオープン ◆ 5月 酒田DMO設立 ◆ 4月 南平田小学校に田沢小学校が統合 ◆ 7月 酒田駅前交流拠点施設ミライニがグランドオープン ◆ 9月 酒田市が地域医療連携推進法人日本海ヘルスケアネットに参加 ◆ 9月 酒田港東ふ頭に交流観光施設「SAKATANTO」オープン	◆ 原油高・物価高騰と電気代の上昇 ◆ 国からの「地方創生臨時交付金」などを活用し、自治体独自の緊急経済対策の実施 ◆ マイナポイント第2弾（最大2万円分のポイント付与）の実施 ◆ 全国の年間出生数が、統計開始以来初めて80万人を割り込む
2023 年 (R5)	◆ 2月 地域コミュニティまちづくり協働指針策定 ◆ 4月 総合計画（後期計画）策定 ◆ 4月 オンライン市役所「さかたコンポ」のサービス開始 ◆ 4月 アランマーレ山形がV1昇格 ◆ 6月 移住交流拠点「TOCHiTO」グランドオープン ◆ 6月 岩手県西磐井郡平泉町と文化交流協定締結 ◆ 8月 三重県度会郡南伊勢町と文化交流協定締結 ◆ 9月 酒田市長に矢口明子氏が就任 ◆ 10月 日本ご当地ラーメン総選挙で「酒田のラーメン」が日本一に ◆ 12月 酒田駅前広場が完成	◆ 新型コロナが「5類移行」、社会経済活動の完全再開 ◆ こども基本法施行、こども家庭庁の発足 ◆ 「生成AI（ChatGPTなど）」の普及

年	本市のあゆみ	社会情勢
2024 年 (R6)	◆ 4 月 酒田港が海洋再生可能エネルギー発電設備等拠点港湾（基地港湾）に指定 ◆ 5 月 総合文化センター内に文化資料館 光丘文庫オープン ◆ 7 月 令和 6 年 7 月 25 日からの大雨災害発生 ◆ 10 月 台湾台中市と観光友好交流の促進に関する協定締結	◆ 新紙幣の発行開始 ◆ 定額減税（所得税と住民税から 1 人あたり計 4 万円を減税する政府の経済対策）の実施 ◆ 能登半島地震発生
2025 年 (R7)	◆ 3 月 いろは蔵パークオープン ◆ 6 月 戸田建設株式会社と協定締結 ◆ 8 月 船井総研ホールディングス主催「サステナブルグロースカンパニーアワード 2025」パブリックサービス賞受賞 ◆ 11 月 合併 20 周年 ◆ 12 月～1 月 東京「松屋銀座」の迎春装飾として、本市の伝統工芸品「傘福」を展示	◆ 高市内閣の発足 ◆ 大阪・関西万博の開幕 ◆ 米の価格高騰と品薄が起こり「令和のコメ騒動」と呼ばれる ◆ 団塊の世代が全員「75 歳以上（後期高齢者）」に到達
2026 年 (R8)	◆ 1 月 定期船とびしまが、強い冬型の気圧配置の影響で 22 日間欠航 ◆ 1 月 2022 年 5 月から運休していた JR 陸羽西線が、3 年 8 か月ぶりに運転を再開 ◆ 3 月 松陵保育園が閉園 ◆ 4 月 東北公益文科大学の公立化	◆ 健康保険証の原則廃止に伴う「マイナ保険証」の完全定着 ◆ 中東情勢の緊迫化による原油・ナフサ価格の高騰と品薄